

久留米市鳥類センター

久留米大学留学生別科

けやき組 222BD03

何 佳希

1. はじめに

世界で地域や天候を問わず、いつでもどこでも鳥を目にすることができる。鳥類はどのような存在なのだろうか。私が日本に来たばかりのころ、よく夜一人で散歩していた。偶然、中央公園の近くで様々な鳥の声が聞こえた。鳴き声がどこから聞こえたのかと周りを見ると、観覧車が見え、鳥類センターの看板があった。小さい頃からずっと様々な動物が好きなので、すぐ興味が出てきた。その後、友達と一緒に遊びに行ったが、大切な思い出として心に残っている。今回の修了レポートで、鳥類センターの運営と動物の飼育方法についてより深く理解したいと思い、このテーマを選んだ。そして、鳥類センターを訪問してインタビューすることにした。

2. 背景

公益財団法人久留米都市公園管理センターのホームページによると、久留米市鳥類センターは久留米市東櫛原町中央公園内に位置する。久留米大学駅からバスに乗って五穀神社で降りて、徒歩5分ぐらいで着く。営業時間は朝9時から午後5時までである。毎月第二月曜日は休みである。入園料は大人260円で中学生と小学校及び幼児は無料となっている。園内は動物園があり、全部で83種類の動物がいる。9割以上は鳥類である。美しいクジャや世界で一番危険な鳥類のヒクイドリもいる。また、教育普及活動の一環として、子供たちの動物を愛する気持ちを育むために、ウサギやモルモットなどとのふれあいコーナーを設置している。園内は遊園地や休憩室も設置していて、快適に過ごすことができる。

3. インタビュー

2023年12月27日に久留米市鳥類センター園長の上野氏にインタビューをした。

質問と回答は次の通りである。

質問 1 来館者に一番人気があるのは何の鳥ですか。

回答 1 人気がある鳥はペンギンかヒクイドリです。

質問 2 鳥類の世話をする時に最も大変なことは何ですか。

回答 2 鳥類センターは久留米市がこの施設を持っています。私たちの会社は久留米市から運営を任されています。そして私たちが鳥の飼育は下請けの会社に出しています。ですから、直接私たちが飼育をしたわけではないです。飼育の担当は多いですが、やはり環境が一番大変だと言っています。

質問 3 なぜインターネットでライブカメラを公開することにしましたか。

回答 3 なかなか見に来られない方もいるので、その方々のためにライブカメラを設置しています。

質問 4 なぜクジャクを選びましたか。

回答 4 昔は久留米市がクジャクの町だったそうです。ですから、クジャクを選びました。鳥類センターにクジャクもたくさんいます。3種類の73羽がいます。

質問 5 クジャク以外の鳥もライブカメラで公開したことがありますか。

回答 5 クジャク以外の鳥のライブカメラは公開していませんが、動画配信サイトには動画を出しています。

質問 6 12月1日に鹿児島からダチョウが2匹来たそうですが、どうやって連れて来ましたか。運ぶのに、どのぐらい時間がかかりましたか。

回答 6 鹿児島の業者は専用のトラクターに積んで持って来ました。3時間ぐらいかかり

ました。

質問7 新しく来た動物はどのぐらいでこちらの生活に慣れますか。

回答7 一週間ぐらいでここの餌をきちんと食べられるようになります。

質問8 福岡県近隣において高病原性鳥インフルエンザが確認されていますが、鳥類センターにどんな影響がありますか。

回答8 フライイングゲージといって鳥小屋をトンネルのように網で覆っています。フラミンゴの小屋も同じようにしています。ペンギンのえさやりなども中止していました。このまま鳥インフルエンザが発生しなければ、1月14日から開催します。

質問9 コロナが終わったばかりですが、これから何か活動やイベントを行う予定がありますか。

回答9 コロナが終わって、子供たちとモルモットなどのふれあいのイベントを復活させました。

インタビューをする前は久留米市鳥類センターが普通の鳥類を展示している場所だと思ったが、実際に行ったら、久留米市鳥類センターは鳥類を展示するだけでなく、近距離で見られ、鳥類への理解を深めることができる施設であった。そこでは子供たちの心を癒す動物園づくりが行われており、子供たちが幸せそうな笑顔でいるところを見た。子供たちの気持ちに共感できた。きっといつかの将来にこの時の記憶を思い出したら、同時に幸せも思い出せるだろう。

4. 考察及び提案

鳥類センターは鳥類の展示や子供たちのための施設も数多く設置しているところで、子供

たちが本の中の知識を勉強するだけでなく、体験から学ぶこともできる。また、心をリラックスできるいい場所である。遊園地の施設を新しくし、面積を広げれば、子供だけではなく、大人にも対応できるレストランやカフェも設置でき、家族でより楽しめる場所になると思う。また SNS などのインターネットを活用して宣伝をよりすれば、来園者が多くなるだろう。

5. まとめ

今回のインタビューを通じて、鳥類の飼育や鳥類センターの状況をより詳しく理解できた。そこでは、多くの美しい鳥の姿と幸せな子供たちが見られた。近距離で動物に触れたり見たり、疲れても休憩できる場所がある。動物が好きな人や親子にとって、とてもいい場所だと思う。もし時間があり、のんびりしたかったら、鳥類センターへ行ってみるのもいいだろう。

参考文献

公益財団法人久留米市都市公園管理センター

「鳥類センター」 <https://kurumekoen.org/birdc/> （最終閲覧日：2023年12月26日）



写真1 鳥類センターの看板(2023年12月27日撮影)

(掲載許可あり)



写真2 鳥類センターで飼育されている動物(2023年12月27日撮影)

(掲載許可あり)